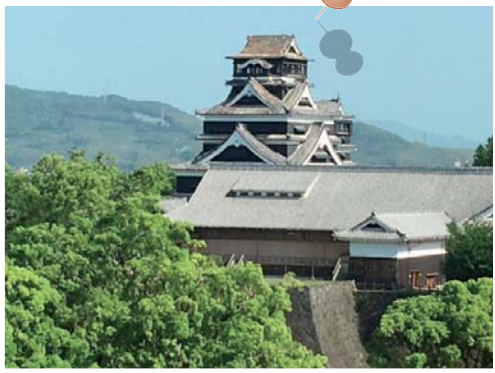




▲屋根瓦が崩れ落ちた熊本城



▲ボランティアセンターからのお願い



▲体育館での避難生活



▲益城町家屋被害の様子



▲避難所での食糧配給の様子

■窓口サービス課 足立 英雄

私は、熊本地震の発生後、およそ1ヶ月経った時期に、拠点避難所の熊本市総合体育館・青年会館で、避難所運営支援に携わりました。

そこでは、自宅が倒壊してしまった方、住むことができなくなってしまった方など、合わせて200名ほどの方々が、長期間におよぶ不自由な共同生活を余儀なくされる中、お互いに時には助け、時には助けられ励ましあう光景が見られました。

災害時には、まず自分(家族)の身を守ることが第一ですが、同時に、周囲のために自分ができていることを考えておく、それが周りみんなのために大いに役立ちます。

「仕事が得意」「調理が得意」「困っている人への目配りができる」など、いざという時に自分がみんなのためにできること、特技について、一度ご近所で話をして共有してみてもいいかもしれません。

■保健福祉課 南 学

私が運営支援に携わった避難所では、避難者の皆さんから不平不満を聞くことはほとんど無く、皆さん穏やかで辛抱強く過ごされていて、感謝の言葉をいただくことが多くありました。

ただ、この避難所には避難所を運営する自治組織が結成されていませんでした。

災害時避難所においては、掲示板などを使い罹災証明手続きや、行政からのお知らせを伝達する手法が取られますが、少なくとも、私達が派遣されている間には、こういった情報発信が充実しているとは言えない状況でした。

大阪市では、地域の皆さんと行政が連携して避難所の運営を行っていますが、生活環境の改善を図るだけでなく、皆さんの声を行政サイドに届けることや、より詳しい情報を早く入手するためにも、地域の皆さんが積極的に避難所を運営していくことが大切であると実感しました。

平成28年熊本地震 被災地派遣報告

天王寺区のみなさん。
目頃からの自助・共助の取り組みが大切です。
今からでも遅くありません。
ご家庭でも水・食糧などの備蓄を始めましょう。

天王寺区長 西山 忠邦



▲本市職員が生活物資の配給準備中

熊本市立錦ヶ丘中学校からのお礼のメッセージを頂きました。区役所1F区民ロビーに展示していますのでご覧ください。



平成28年熊本地震 災害義援金

7月20日現在 天王寺区役所 受付金額 1,640,550円
お預けいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて被災地にお届けしています。

住まいの耐震化を応援します！
戸建住宅等の耐震診断・耐震改修費補助

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災では、住宅の倒壊や家具の転倒により亡くなった方が、全体の約9割を占めました。今年4月に発生した熊本地震でも多くの住宅が倒壊し、大きな被害を受けました。

地震に強い住まいづくりには、まず建物の耐震性を知るための耐震診断が大切です。

大阪市では、平成12年5月31日以前に建築された民間住宅であることなど一定の要件を満たす住宅について、耐震診断・耐震改修に要する費用の一部を補助しています。

補助限度額(1戸あたり)／

①50万円未満
(耐震診断費補助)
・診断費用の90%以内で4万5千円まで
・改修設計費用の3分の2以内で10万円まで
②50万円以上
(耐震改修工事費補助)
・改修工事費用の50%以内で100万円まで

※今年度はさらに、最大20万円を上乗せ

締切／①12月28日(水)
②12月15日(木)

備考／補助を受けるための要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。

問都市整備局
耐震・密集市街地整備受付窓口
TEL 6882・7053
FAX 6882・0877
月・水・土曜日 9時～19時
日曜日・祝日 10時～17時



▲熊本地震で倒壊した家屋